

ID <sup>注1)</sup>	151102	公開レベル <sup>注1)</sup>	C	保管形式 <sup>注1)</sup>	紙・電子	保管場所 <sup>注1)</sup>		前回ID	141101
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	------	---------------------	--	------	--------

報告書名称 /調査名称	平成27年度 白神山地における中・大型哺乳類調査業務 報告書							発行年月/報告年月	
								2016年	2月
								資料形式 <sup>注2)</sup>	報告書

調査機関	環境省 東北地方環境事務所	委託機関	
------	---------------	------	--

調査開始年	2013年	9月	調査期間	2015年	5月	～	2015年	11月
-------	-------	----	------	-------	----	---	-------	-----

調査頻度 <sup>注2)</sup>	毎年	—	調査時期 <sup>注2)</sup>	春	夏	秋
---------------------	----	---	---------------------	---	---	---

モニタリング計画	2012年3月 策定	区分 <sup>注2)</sup>	ⅡB	大区分 <sup>注2)</sup>	2	小区分 <sup>注2)</sup>	(1) (3)
----------	------------	-------------------	----	--------------------	---	--------------------	---------

調査箇所・範囲 <sup>注3)</sup>	調査手法
------------------------	------

核心地域     緩衝地域     周辺地域

GPS等の位置データあり



※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

■目的  
白神山地世界遺産地域及び周辺地域において、白神山地世界遺産地域モニタリング計画の重点調査に位置づけられている中・大型哺乳類の生息状況を把握することを目的として自動撮影装置による調査を実施。また、今後白神山地への分布域拡大の可能性が指摘されているニホンジカやアライグマ等の侵入状況の把握に努める。

■調査対象  
中・大型哺乳類相

■自動撮影装置設置箇所  
入山者数カウンター設置地点周辺（暗門及び小岳を除く）10箇所（各1台、ニツ森のみニホンジカ監視強化のため3台）、ブナ林モニタリングサイト3箇所（各3台）、白神山地周辺町村の管理協力設置4箇所（各1台）、ニホンジカ監視強化のための増設設置1箇所の18箇所に計26台の設置を行った（図1）。

■調査期間 平成27年5月11日～平成27年11月18日

■使用機器 BMC社SG968K-10M、TREL10J

■集計方法  
撮影された画像について、目視で動物種名や個体数等の判別を行い、地点別の出現種等を集計する。

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

- 自動撮影装置による動物の撮影個体数（連写の場合は、一連の撮影で写った個体数の最大頭数）は562頭、その内哺乳動物の撮影個体数は549頭であった。
- 撮影個体数の多い中・大型哺乳動物としてはニホンザル（141頭）、カモシカ（118頭）の撮影が多く、次いでノウサギ（49頭）、タヌキ（39頭）、ツキノワグマ（33頭）、アナグマ（31頭）、テン（17頭）、キツネ（9頭）、イタチ（7頭）となった。他にハクビシン（2頭）、ニホンジカ（1頭）、モモンガ（1頭）、ネズミsp.（92頭）が撮影され、撮影種は13種になった（表1）。
- 撮影個体数の多かった地点としては、留山（103頭）、白神岳（88頭）、ニツ森気象観測施設（72頭）、大川（39頭）となった（表1）。
- 自動撮影装置により撮影された生息域の拡大が懸念される種としては、白神の森遊山道に設置している機器によりニホンジカ1頭（雄）、前年度に引き続き高倉森登山口付近に設置した機器によりハクビシン2頭が撮影された（図2）。

問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 《原本（データ）の帰属について》
-------	---

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。  
注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。  
注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

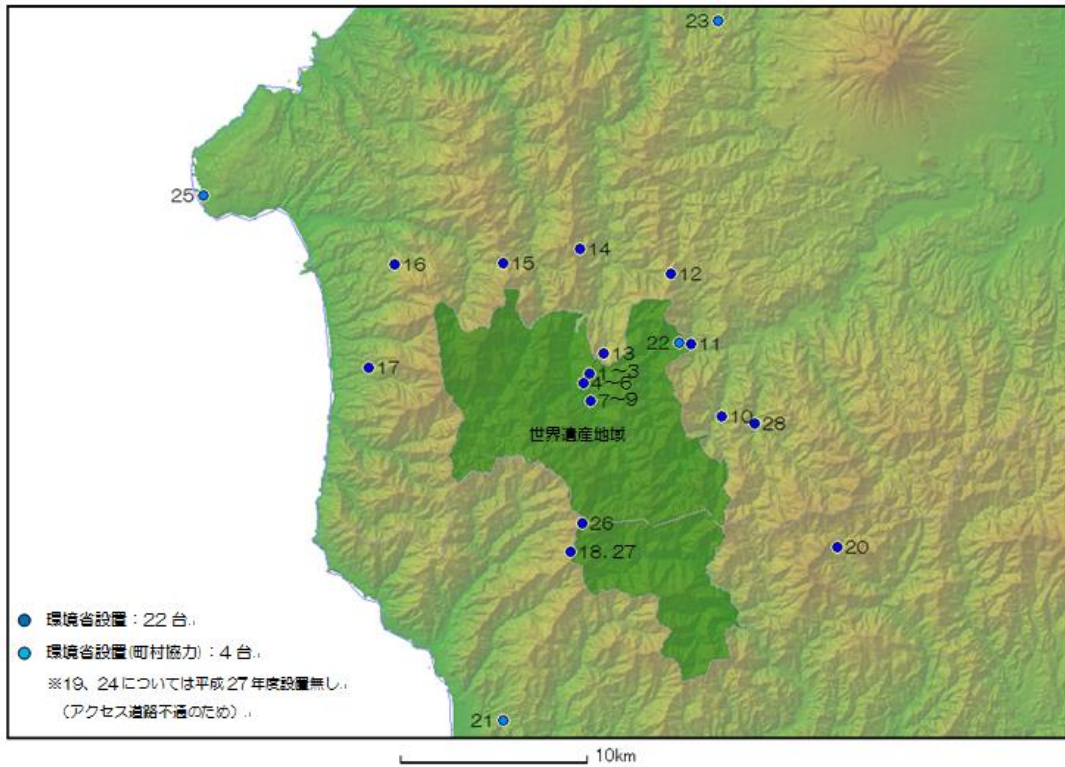


図1 平成27年度自動撮影装置調査実施状況について

種類	①尾根1	②尾根2	③尾根3	④クマゲラ1	⑤クマゲラ2	⑥クマゲラ3	⑦ヤナダキ1	⑧ヤナダキ2	⑨ヤナダキ3	⑩大川	⑪高倉森	⑫津軽峠	⑬榑石山	⑭天狗峠	⑮一ツ森峠	⑯崩山	⑰白神岳	⑱観測施設	⑳二ツ森気象	㉑岳岳	㉒留山	㉓歩道	㉔ブナ林散策	㉕遊山道	㉖白神の森	㉗榑山の森	㉘ウエスバ	㉙登山口	㉚二ツ森	㉛泊岳	㉜大沢林道	総計
ニホンザル	2	2	7	5	3	4				18	13	18	3	1	2	2	23			5		18	11					1	2	1	141	
ノウサギ						2	2	4			2	2	7		1			23						1				4	1		49	
ツキノワグマ		1	1		2	2	1	2	2			2	1		1		2	9	1	4			1					1		33		
キツネ																		7										2		9		
タヌキ						5				6	1						3	18		5	1									39		
テン					2					2	3						1	2	2	2				1			1		1	17		
イタチ		2																			1	4								7		
アナグマ	1					3				7							1	4	13	2										31		
ハクビシン											2														1					2		
ニホンジカ																									1					1		
カモシカ	4			3	2	1			1	1	4	5		1		6	55	2	1	4			10	17					1	118		
モモンガ																														1		
ネズミsp			5								5											82								92		
哺乳類種不明			1			1			1								2				1	1			1	1				9		
ヤマドリ														2				6			1									9		
キジバト																						2								2		
クロツグミ																						1								1		
ハンボソガラス																			1											1		
合計	7	10	9	8	7	20	1	4	8	39	24	28	11	4	4	9	88	72	22	103	24	25	18	7	6	4			562			

表1 自動撮影装置による動物の撮影状況(撮影個体数※) ※連写の場合は、一連の撮影で写った個体数の最大数

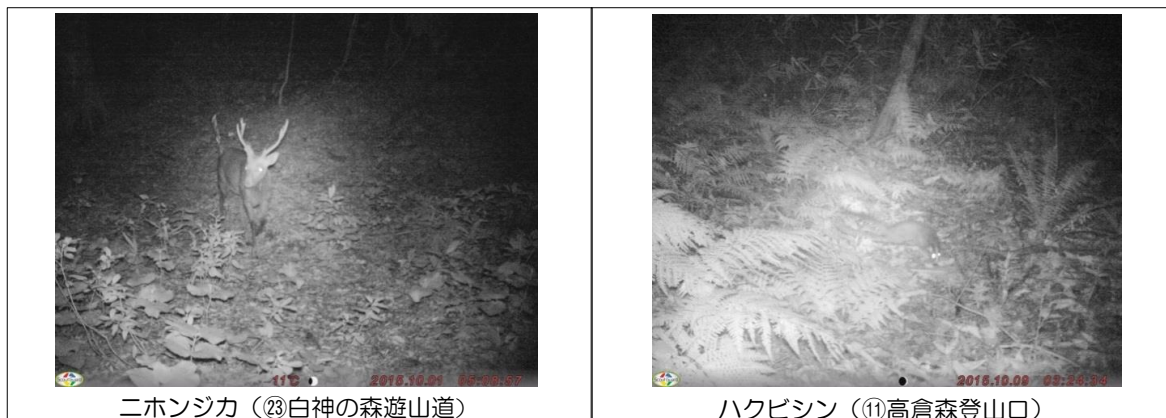


図2 自動撮影装置による生息域の拡大が懸念される種の撮影